

学校選択制について

3 学校選択制

市町村教育委員会は、就学校を指定する場合に、就学すべき学校について、あらかじめ保護者の意見を聴取することができる。(学校教育法施行規則第32条第1項)この保護者の意見を踏まえて、市町村教育委員会が就学校を指定する場合を学校選択制という。便宜的に分類すると、主に以下のようなタイプがある。

自由選択制	当該市町村内の全ての学校のうち、希望する学校に就学を認めるもの
ブロック選択制	当該市町村内をブロックに分け、そのブロック内の希望する学校に就学を認めるもの
隣接区域選択制	従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学を認めるもの
特認校制	従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの
特定地域選択制	従来の通学区域は残したままで、特定の地域に居住する者について、学校選択を認めるもの

文部科学省 HP より抜粋

県内事例

例 1：松戸市（隣接区域選択制） 市内全校対象

指定校の学区に隣接する学校で、安全に徒歩通学できる範囲で選択可能。

学校ごとに受け入れ可能な人数を定めており、可能数を超えた場合は抽選により決定。

例 2：木更津市（特認校制） 小学校 4 校、中学校 2 校が対象 「きさらづ特認校」

小規模の特性を生かし特色のある教育活動を行っている小中学校に、通学区域外からの転入学を認め、児童生徒を受け入れる。

特認校児童送迎用バス運行。

例 3：浦安市（特定地域選択制） 南小学校区が対象

南小学校の大規模状態を緩和するために、南小学校区在住の児童が隣接する大規模校以外の学校への就学を選択できる。

(仮称) 北統合中学校 今後の方向性について

代表者会議 答申（令和8年3月23日）

「琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小の5つの学区を対象に、
中学校を新設することに**反対**とする」

基本方針とは異なる委員の意見**1. 学区の見直し**

5学区だけでは生徒数が少なく、(仮称)南統合中学校との格差もあるため、(仮称)旭地域西小学校(干潟小・豊畑小)も学区に編入するなど、学区の見直しを検討してほしい。

2. 第二中と海上中を活用

将来的な生徒数の推計を踏まえると、再編後の中学校の配置数は2校が適切だと考えるので、新設はせずに、スクールバスを活用して二中または海上中に通学することを検討してほしい。

3. 現干潟中の位置で新設(建て替え)

干潟中は市の北側の玄関口であり防災拠点としても有効

その他要望等

- ・干潟中の早期統合。スピード感を持った検討をしてほしい
- ・原則スクールバスを出してほしい
- ・新築するにしても持続可能であることが大事。将来負担も考える必要がある
- ・新築する場合、干潟中の救済措置として一旦二中に統合もあり
- ・歩道や街灯などの通学路の整備をしっかりとしてほしい
- ・都市計画など、将来的なまちづくりの展望も一緒に考えていくべき
- ・学区を柔軟にしてほしい
- ・一中も含んだ市全体の方向性を示してもらいたい

今後の方向性パターン ※委員意見より

パターン	学区図	中学校配置数／対象学区	学校位置	生徒数推計			初期費用	備考
				2026	2031	2036		
A 新たな場所で 新築 (学区の見直し)		①中央小・富浦小・矢指小	一中又は 二中	444	430	364	統合改修 15億円	<ul style="list-style-type: none"> ・北中学区に干潟・豊畑学区を含んで新たな候補地で新築 ・統合時期目安：2036年頃 (用地取得の見通しがつきにくく時間がかかる) ○学校ごとの生徒数のバランスが良い ×初期費用が大きい ×通学路や通学方法等の見直しの幅が大きい ×南統合中再編への影響が大きいため合意がなければ進められない
		②干潟小・豊畑小・共和小・ 琴田小・ひかた椿小	新場所	546	472	389	新築 70億円 (市負担37.5億)	
		③うなかみ小・三川小・飯岡小	海上中	412	375	285	統合改修 15億円	
B 干潟中を建て 替え (5つの学区)		①中央小・干潟小・豊畑小・ 富浦小・矢指小	二中	663	644	527	統合改修 15億円	<ul style="list-style-type: none"> ・5つの学区を対象に、干潟中を建て替える ・統合時期目安：2031年頃 (用地取得の必要がないため早期建設が可能) ・共和、琴田学区からスクールバスを運行検討 ○南側ため池を整備することで用地の拡張性がある ○他地域の再編に影響はないため単独で進められる ×北中の立地が北側に偏っている ×人数が少なく将来的に小中一貫や再統合が必要となる
		②共和小・琴田小・ひかた椿小	干潟中	327	258	226	改築・改修 40億円 (市負担21.6億)	
		③うなかみ小・三川小・飯岡小	海上中	412	375	285	統合改修 15億円	
C 二中を活用		①中央小・干潟小・豊畑小・富浦 小・矢指小・共和小・琴田小・ ひかた椿小	二中	980	902	753	統合改修 15億円	<ul style="list-style-type: none"> ・一中、二中、干潟中を再編し、二中校舎を活用 ・統合時期目安：2036年頃 (教室数が不足しない時期に統合) ・干潟中学区からスクールバスを運行検討 ○初期費用が一番抑えられる ×統合時は一時的に大規模校となる ×2校で生徒数に差ができる ×周辺の道路環境や雨天時の渋滞など現二中の課題が残る
		②うなかみ小・三川小・飯岡小	海上中	412	375	285	統合改修 15億円	
D 海上中を活用		①中央小・干潟小・豊畑小・ 富浦小・矢指小・共和小・ 琴田小	二中	846	799	689	統合改修 15億円	<ul style="list-style-type: none"> ・一中と二中を再編し、二中校舎を活用。 干潟中と海上中と飯岡中を再編し、海上中校舎を活用。 ・統合時期目安：2031年頃 (東統合中の進捗状況を踏まえつつ進める必要がある) ・干潟中学区からスクールバスを運行検討 ○海上中は敷地面積が広く整備しやすい ×海上中の増築が必要となる ×学区の形がいびつになる(古城地域から遠くなる)
		②うなかみ小・三川小・飯岡 小・ひかた椿小	海上中	546	478	349	増築 20億円	

※2026の生徒数はAとBは推計値を使用、CとDは実績値を使用しているため合計に誤差があります。